

2024.5.9 (木)
第40回例会
(通算3755回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第2500地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (釧路港 RC)

月間テーマ

青少年奉仕月間

本日のプログラム

情報集會報告会 (クラブ研修委員会)

次週例会

夜間例会 笑顔の卓話ルーレットリレー (親睦活動委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：日理 一哉君
- 会員数 102名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間

後藤 公貴会長



皆さん、こんにちは。お食事中の方は続けてお食事をお楽しみください。

ゴールデンウィークもあけまして、皆さんもしっかりリフレッシュをされてお仕事に勤しんでいることと思います。

新年度に入って1カ月余り、皆さまの会社にも新入社員であったり、アルバイトさんであったり、パートさんであったり、新しい出会いがたくさんあるものと思っています。少し前の話になりますが、うちの店でもアルバイトの人たちが元気いっぱい働いてくれていますが、ひとりの男の子が「今日からアルバイトをします」ということをご挨拶をさせていただきました。元気に働いていてくれましたが、雑談をする時間があって、僕から「お前、部活は何をやっているの」と聞いたのです。すると「僕は軽音楽部に入って、ベースをやっています」という話でした。「俺もね、お前たちの年にはバンドをやっていて楽しんだものだよ」という話をして、楽しい会話だと僕自身は思っていたのですが、次の日、その男の子から「アルバイトを辞めさせていただきます」という連絡がありました。まあ、仕方がないとは思ってはいいたのですが、後学のた

めに「なにかあったの、なぜ辞めるの」と理由を尋ねたら、「親にも『お前』なんて言われたことがない」ということです。自分の乱暴さ、高慢さというのか、非常に反省をしたのです。答えは求めませんけれども、皆さま、この話をいかがお感じになりますでしょうか。本日の例会は、過日、開催された下期情報集會の発表会となっております。きっと、8つのグループ、それぞれ楽しく歓談・交流を深めたものと思います。ロータリーの未来についてといったところで、本日は楽しく皆さまのお話を伺わせていただきたいと思います。本日も一日、どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告 石井 孝行副幹事

本日は幹事がお休みですので、副幹事より報告いたします。

今月のロータリーレートは157円となっております。

委員会報告

公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会

ご苦労様です。嵯峨記念育英会は本日、選考委員会を開かせていただきました。2名の新しい奨学生を選ばせていただきました。2名しか応募がなかったことを反省しながら、来年に向けて頑張りたいと思います。ご報告です、ありがとうございます。

■本日のプログラム■ 情報集会報告会

クラブ研修委員会 舟木 博委員長



皆さん、こんにちは。先日、メキシコまで行ってきました。10日間なのですけれど、3日間は2500メートルの山で準備しながら日食を待って、無事に素晴らしい日食を見てきました。体調はあまり良くなかったのですが、とりあえず、冥土へのお土産ということで、小学校1年生くらいの時に釧路で皆既日食を見ているのですが、それ以来でした。また見に行きたいと思っています。

クラブ研修委員会より下期の情報集会報告会ということで、後藤会長のロータリーの将来・未来について、そしてその他気が付いたことがあれば、と例年どおり行わせていただきました。

いつもなら10グループくらいなのですが、今回は少し絞って8グループ、AからHの形で行いました。いつもは飲食店の方のそのお店で必ず出席する形でしたが、普段会うことができない飲食店グループで1つのグループを作って行いました。やはり、普段会わない方が会うことができ良かったと思っています。そういう切り口もあるのだと、そんな少し違ったことを考えたらいいなと思っています。

本日の発表の順番ですが、みんな油断してAは当たらないだろうと思っていますので、今日はAから始めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、お願いいたします。

Aグループ 田中 弘明君



Aグループ、田中です。今回の私たちは、濱谷さん以外全員は飲食店経営者という、これまでと少し変わったメンバーで、当店『八喜寿司』で開催いたしました。

冒頭で後藤会長から「難しい話はなしにして、ざっくばらんに」と方針を示していただき、特にテーマに沿うこともなく、答えもなく、今、この場に立ちたいと思っていますけれども、「クラブのいいところ」がテーマにあったような気がしています。

そのいいところ、雰囲気とか、「ざっくばらんに」と後藤会長がおっしゃって、ざっくばらんに話し合え

る環境とかベテランも若手も話し合える環境、またその雰囲気という空気感も素晴らしいところだと、先輩たちが背中中で語る、「肌で感じる」と、そのように言われたような気がいたしました。

後半、ロータリーのことについて、ロータリーカップのことが議論されました。「子どもたちのためにならなかつたら行わないほうがいい」とか、「形を変えながら続けるのがいい」という話の中で、この事業がどういう経緯で・どういう思いでつながれて来たのかの貴重な話を聞くことができ、その思いを継承していることが真剣な奉仕活動につながり、社会貢献につながり、ロータリークラブの風格につながっているのだなど、ロータリークラブの根源的なところを勉強させていただきました。すごくいい機会だったと思います。以上、Aグループです。ありがとうございます。

Bグループ 田村 健太郎君

こんにちは。BグループはAグループよりもがっちり議論した気はしていますが、私は日ごろ話す時に原稿など書かないタイプなのですが、今回は原稿を用意しました。



リーダーは菅原さんで、8名が『朴然』に集まり2つのテーマで活発にご発言いただきました。冒頭、青田さんから、ロータリー70周年の際にご自身がFMくしろでロータリークラブの魅力について話されたエピソードをご披露いただいたこともあって、その流れに従って皆さんがしっかり話されていました。

ロータリーの良いところは、3つあったと思います。1つは、「世代や業種など様々なバックグラウンドをお持ちの方が多数参加されている」。具体的には、「日ごろ簡単に会えないメンバーと昼や夜例会でお酒を酌み交わしながらロータリーや釧路の将来など様々な課題について真剣に議論できるのは非常に楽しく、いつも刺激を受けている」「ロータリーで聞いた話や人とのつながりを会社の部下や同僚にフィードバックすることによって、なんとなく会社における自分の立場が上がっている気がする」というコメントがありました。

2つ目は、「風通しが良い」と皆さんがおっしゃっていました。「10歳以上も歳が離れた先輩たちが入会以、来遊してくれる」「人間関係が最高」「先日の卓話で転勤族の釧路に対する見方を披歴する機会をいただき、準備の課程で手厚いサポートをいただくなど、釧路の外からの目線とか外部に対してとてもオープンです」という声がありました。私も転勤族ですが、入会当初は「歴史と伝統」ということで身構えていましたが、入ると明るい雰囲気なので、非常に懐が深い

クラブだなどと思っています。

3つ目は、これ一番重要なかもしれませんが、「先輩が後輩の面倒を良くみて、後輩が先輩を立てる良き伝統がある」と皆さんがおっしゃっていました。「大先輩が好きのようにさせてくれたので、自分も後輩に同じようにしていきたい」「先輩を立てる風潮が世代を超えたサポートにつながって、クラブの優しい雰囲気につながっている」というコメントがありました。

最後に、ロータリーに期待されていることは、皆さんが同じ話をされていて、「外部の目を過剰に意識することなく、これまで積み重ねてきた取り組みを淡々とやるのがいい」とありました。「ロータリーの活動内容は世間に広く知られていないかもしれないが、奨学金やホッケーのロータリーカップ等はクラブが決めた社会奉仕とか支援活動をぶれずにやって行くことが大切だ。外部の目をいたずらに気にして背伸びすることなく、行うことが大事だ」

と皆さんが異口同音に発言されました。

それから、「クラブでつながりを深めることが所属先の組織とか友人や家族、そして地域に新しい視点の提供など、プラスの価値をもたらす」という発言もありました。

私は初めてこのような取りまとめの立場で聞いていたのですが、実は知りませんが旧制中学のような、よい談論風発を尊ぶようないいクラブだと改めて思いました。自分自身も末端会員としていろいろとネットワークづくりに貢献できればと思います。以上です。

Cグループ 八幡 好洋君



Cグループの八幡です。Cグループは非常に楽しく時間を過ごさせていただきました。真面目な話から砕けた話まで多岐にわたっていましたので、まとめるのが大変でした。

ホントに活発な議論がありました。釧路ロータリークラブの良いところでは、「程よく緩くて、しっかり締まるところは締まっている」「その年の会長の意向を信頼して任せて自由にやれる空気があって、過去の会長や大先輩に変に気を使わずに自由にやらせてくれる裁量、懐の深いところがある」という意見がありました。また、「派閥がなく会員みんなが仲良くやっているのも良いところ」もありました。

一方で、緩すぎても良くないというところで、「緩すぎずに、押さえどころを押さえてやって行く加減がとても良い」という話がありました。

今後の地域に求められているところでは、「どうしても単年度事業になるので、大きな決断がしにくいと

ころがある」という意見がありました。「当年の会長判断で事業の判断をしてしまうと判断がしにくいところがあるかもしれないので、その時には特別委員会のようなものを設置して複数年度の検討機関を設けて大きな判断をするものがあるといい」という意見もありました。具体的には、スポーツ版の奨学金のように、現状ではアイスホッケー大会を運営しているが、例えばそれを女子アイスホッケーのフォローに回したらいいのではないかと「部活全体へのサポートだっていいのでは」など。「釧路はハンドボールが強いのでハンドボールへのサポートが効果的だろう」と。あと、「最近の少子化もあって、陸上など個人スポーツに人気があって盛んなので、そのサポートも良いだろう」「経済的な理由で部活の継続が難しいという子どもも増えているので、そこへのサポートも効果的だ」という意見がありました。

最後に、「奉仕活動を行うのがロータリーなのですが、そこにとらわれずに、こういう活動をしたらいいのではというのを市などに提言をまとめて働きかけるような活動もあっていいのではないかと」というご意見もありました。

以上です。

Dグループ 日理 一哉君

お疲れさまです。Dグループは4月17日に池田リーダーの下、8名で会合を開きました。他のグループの話



を聞くと、順番にひとりずつ意見を募って話し合いをしたと聞きましたが、うちのグループはそんなことがなく、ただの飲み会みたいになっています。ここで話し合ったことを語るのは難しいのですが報告させていただきます。

釧路ロータリークラブ会員は職種が広く普段なかなかお会いできない方・お話のできない方とコミュニケーションがとれるのが他のクラブにない魅力のあるところと個人的に思っています。

自分の話になりますが、私はロータリーに戻りになるのですが、前職を退職する時に悩んだのは、お金のこともあります。一番悩んだのは人脈です。今まで積んできた人脈はどうなるのか、退職したら将来釧路ロータリークラブに入会させていただきたいなという自分の中の目標でもあったのです。それくらい釧路ロータリークラブには魅力があります。

ホントに魅力ある釧路ロータリークラブに入会させていただきましてありがとうございます。

会合の話に戻ります。西池先生が話題を提供してくれましたが、チャット GPT で「釧路ロータリー」

と「イメージ画像」で行うと、イメージ画像を作ってくれたのですが、最初に「釧路湿原のイメージ画像」ができました。その後に「活動風景」と入れると「お年を召された方が釧路湿原で食事をしている」イメージ画像ができました。なので、AIが考えているロータリーのイメージはこういうことなのだと思うのです。さらに「若くしてください」と入れると若い人が食事をしている画像ができたのです。

何が言いたいかですが「ロータリー、イコール、食事」みたいのがあるのかと思いますので、われわれは他にいいことを行っていますので、そういうことを周知・PRして行かなければならないという意見が出ました。私もそういう草の根的な活動をして行ければと思っています。

以上です。ありがとうございました。

Eグループ 田坂 渉君



お疲れ様です。Eグループの情報集会について報告させていただきます。

横田リーダーの下、舟木委員長を含め12名の参加で、

いろいろな意見をいただきました。その中で、釧路ロータリークラブのいいところでは、「入会歴の長い方、短い方がおりますけれど、分け隔てなく交流が深められています」「異業種の中でも情報交換しながら地域の未来を語る間柄になっている」、また「諸先輩も多く、緊張しますけれども席に座ると仲間という意識で接してくれます」と。入会歴の長い方からは「昔は出席しないと文句を言われたりしたが、今は『出られる時に出てください』という寛大さがある」というお話がありました。また「商工会議所時代からの仲間も多くて入りやすい」「年齢を重ねるごとに友達ができ」「今の年齢になってから新しい友達ができるのは釧路ロータリークラブならではないか」という話もありました。

この中で私が感じたのは、伝統の中にも相手を尊重し合う風土があるのが釧路ロータリークラブのいいところでもあります。年齢を重ねるごとにロータリークラブの良さをみんなが分かってくるのは、それぞれが相手を尊重し合いながら、また伝統と歴史を感じ合いながらそれぞれの意志を持って取り組んでいることが釧路クラブのいいところと感じておりました。

釧路ロータリークラブが地域に求められているところに関しては、「街づくりを進めている団体は数多くありますが、国際的に目を向けている団体は少なく、それが釧路ロータリークラブだ。それが地域づくりにつながり、求められているものにつながるのではない

か」という意見、「求められるという形は受動的なので、これから何ができるのかを考えることが逆に求められているものに応えられるものではないか」という意見もありました。

大局観を持って地域のリーダーとしての釧路ロータリークラブが行動して行くことが求められることにならると私は感じておりました。

いろいろな意見が出た中で、先ほど亘理さんからもありましたが、「ロータリークラブやライオンズクラブから誘われたけれども釧路ロータリークラブに入って良かった」というのが皆さんの意見でした。そこでは、入会したからこそ分かる温かさであり、諸先輩が築きあげてくれた礼儀や作法も伝統を感じた中で、会員同士が釧路ロータリークラブのリーダーとしてやっていく自覚を持っていることが釧路ロータリークラブの良さ、としてまとめさせていただきます。

Eグループの発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

Fグループ 吉岡 和美君

Fグループの報告をさせていただきます。

4月15日に『ぎゅう太』さんでクラブ研修委員会の杉村副委員長をお招きして全部で7名の



出席で開催しました。議論の口火を切っていただく役割で杉村副委員長から、ひとつ目の釧路ロータリークラブの良いところでは、まず、「こんなところは？」と投げかけをしていただきました。私が聞いたところでは、「ふたつバランスが良いところがあります。ひとつは規律と寛容さ。もうひとつは地元会員と私のような転勤族がいてすごくバランスいいロータリークラブになっている」という投げかけをしていただきました。

これから地域に期待される場所では、これも副委員長から「県庁所在地ではない釧路のような都市で100人規模のロータリークラブは全国的にみてもあまりないのです。釧路のこれからの人口減少は避けられませんが、その状況下でクラブとしてより一層地域貢献を果たす役割を地域から期待されているのではなかろうか」というテーマを上げていただきました。参加の会員さんと前半の10分15分でしたが議論をさせていただきました。出席者には私を含めて転勤族がおりまして、最初は、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブは規律が優先される厳しいクラブだろうという印象を持ったが、私もそう思いましたが、そのうち、夜間例会などに参加させていただいて、だんだん和やかな、そして和気あいあいとした釧路ロータリー

を実感して、その寛容さを実感できました、ということでした。

そのようなクラブに参加させてもらえるのことに大変感謝しておりますけれど、一方で私のような通勤族は2～3年で入れ替わる・退会することは、このクラブでどのような役割を果たせるのかを自分で考えたこともあるのですが、参加のメンバーの皆さんから「私のような立場の人間が入れ替わることは、釧路クラブの空気の入替えのような役割を果たしている。そこが釧路クラブのいいところを維持して行けるんだ」という話をさせていただいて、なるほど、とすぐ納得しましたし、ポツと出の私のような会員が少しはそういう意味では役割を果たしているのか、を実感受け止めました。

それから、釧路ロータリークラブが地域から求められていることのテーマでは、ロータリーカップのアイスホッケー大会は、釧路ロータリークラブが主催して行くという意味では、少し曲がり角ではないかという話題も昨今出て来ていますが、アイスホッケーに限らず青少年の健全な育成に寄与する活動はよほど釧路ロータリークラブらしいことなので、形を変えてもそのようなことを行っていくべきだろうという話が出ました。では、何を行うかという頭を悩ませますが、参加の皆さんからは、「間もなく迎える90周年の事業の一環として、こういう活動を市民のみなさんに公募をして、それに応える事業を進めるやり方もあるだろう」という提案もありました。以上です。

Gグループ 田向 隆之君



Gグループの発表を始めます。時間も限られていますので短くいきたいと思えます。

『四季の味わい醍醐』さんで6時30

分から開催されました。杉村さんから「情報集会開催の背景」という説明がありました。規律と程よい寛容に釧路ロータリークラブの特徴が端的にまとめられるのではないか、という話がありました。本テーマへの答えを考えるうえで特に重要で、これを肝に据えて議論をしたほうがよいのではないか、と話し合いは進みました。

第一テーマ「釧路ロータリークラブのいいところ」では、あえて「良いところ」ではなく「いいところ」としたのは何かの意図があるだろうと考えていました。単純に良さとする、いいところの特徴をとらえてほしいのではないか、という意図をくみまして、様々な意見が出ておりました。

大きくふたつあります。ひとつは、「釧路ロータリー

クラブは外から来た人を温かく迎えてくれる良さがあり、長い経験から培われた行動様式があるように感じられて感化された」という意見がありました。

第二テーマですが、こちらは議論が白熱しました。特徴的なところは、釧路ロータリークラブが地域に求められているところでマナーの話が出ておりました。「表面的に求められているところ考えると上滑りする危険がある。『街からロータリークラブがなくなると困る』という声を耳にすることがあって、まず足元を固めることが重要だ。例えば、マナーではゲストに聞く姿勢を一考して、真摯な姿勢で聞くこと。スマートフォンを見ながら人の話を聞くことがあれば品位を下げるから、聞く姿勢を整えて地道に積み重ねて品位を高めることが今後のロータリークラブが永続するために重要ではないか」とありました。

最後に、例会に参加して心を豊かにして帰り、会社に持ち帰って生かす。そして例会に参加する、を繰り返し両輪を回すことが釧路ロータリークラブの体内に、ひいては地域の発展にとって重要ではないか」という意見で締めくくりました。

以上です。ありがとうございます。

Hグループ 多田 賢一君

Hグループの報告をします。4月24日、『女来里愛』で開催しています。滝越委員を含め6名の方が参加しています。後半は佐藤 茂



良君が加わっておいしい料理とお酒で蜜の濃い情報交換となっています。

「いいところ」ですが、皆さんは謙虚でシャイな方が多いので、自分のいいところを言ってくれなかったのですが、後半はまとめると2点あったと思っています。

1点目は、本クラブの雰囲気です。「ざっくばらんな感じで意見を言えること」「先輩たちの圧がうまい」「歴代後輩思いの先輩が多い」、それと、他のクラブで盛り上がったのですが「このクラブはボス感がない」という話が出ていました。

2点目は、会員構成のところでは先ほどもおっしゃられていましたが、「会員が多くて、いろいろな職種の方がいて勉強になる」「地元の方と通勤族のバランスが非常に良い」という話です。

2つ目の地域に求められていることについては、明確な意見がなかったのですが、2点ほど報告させていただきます。1点目はアイスホッケーです。「アイスホッケーがなくなるのはさみしい。やっている子どももいるんだよ」という話の一方で、ホントにこれが地

域に求められているのか、ということでは「継続性については継続検討が必要ではないか」という意見です。2点目は地域に求められていることではないのですが、各種奉仕活動の社会奉仕のところで「子ども対象の事業が良かった」「国際奉仕的などが少ないのももう少しあったらどうか」「インターアクトクラブとの連携は今どうなっているのでしょうか」の話がありました。

最後に、樋口副会長が次年度スローガンにあるとおり、各方針には、みんなで参加して盛り上がろう、ということに締めさせていただいております。

本日のニコニコ献金

- 舟木 博君 先月 10 日間メキシコで日食観測をして来ました。また、円の安さを実感しました。
- 杉村 莊平君 長女が入籍しました。時が経つのが早く感じる今日この頃。

今年度累計 474,000 円